

其葉長廣、其色光潤、諸國書寫莫不采用、又コノ葉ヲ堅ニ細ク切り、席ニ織タルヲアンペラト云、東西洋考ニ貝多葉簾ト云是レナリ、又和名ニ多羅葉ト呼デ、寺院ニ栽ユル大木アリ、葉ハ桃葉珊瑚葉ノ如ク、鋸齒細クシテ厚ク堅シ、木刺ヲ以テコノ葉ニ字ヲ書スレバ、色黒クナル、又火ニテ炒レバ、黒斑ヲナス、故ニテンツキノキト云、一名カタツケバ、豐州是モ唐山ニテ貝多葉ト云コト通雅ニ出ツ、本名ハ娑羅樹ニシテ、七葉樹ト同名ナリ、

〔三寶院文書〕猶此使僧可申上候已上、

其後者久々御見舞不申上候、仍卒爾成申上事共ニ候へ共、御門跡様へ、たらよふの木、どなたからやらん進上申候之由承候、左様ニ御座候は、我等申請度候、不苦候者被仰上候て、可被下候、可然様ニ奉憑候、○中略

後二月十五日慶長十二年十二月

養源院

成口花押

三寶院様御内大藏卿殿御床下

濱木蓮

〔大和本草十二〕雜木濱木蓮 其葉ユヅリハニ似テ莖赤カラズ、葉ノ大サモユヅリハノ如シ、葉アツクシテ冬モシボマズ、葉ノサキトガル、細花ヲヒラク、木ノ高一丈許アリ、又多羅葉ニ似テ葉短シ、實モトラヨフニ似テ冬紅ナリ、俗ノ一名大モチ木ト云、

衛矛

〔本草和名十三〕衛矛立言作余音、甄一名鬼箭陶景注云莖有三羽狀、俗呼爲鬼箭、藥性一名三羽、一名鬼針已上出兼名苑和名加波久末都々良、一名久曾末由美乃加波。

〔倭名類聚抄二十〕衛矛本草云、衛矛和名久曾末由美、一云加波久末豆々良、

〔箋注倭名類聚抄十〕御覽引吳普本草云、鬼箭葉如桃如羽、陶云、其莖有三羽狀如箭羽、俗皆呼爲鬼

箭、箭羽名衛、故鬼箭又名衛矛、釋名云、矢旁曰羽、如鳥羽也、齊人曰衛、所以導衛矢也、士喪禮記、獾矢

一乘骨鏃短衛鄭注云、凡爲矢五分、皆長而羽其一、疏云、謂之衛者、以其無羽則不平正、羽所以防衛